

彙報

(二〇一六年)

四月二〇日 研究室ガイダンス

六月二五日 三重大学日本語学文学会(講演:村口進介「冷

泉朝における光源氏の官職歴について」・坂堅太「戦後のサラリーマン表象について」・源氏

鶏太とその時代——)

七月 九日 四年生研究発表会

九月 三日 三年生研究発表会

十一月一九日 修論卒論中間発表会

(二〇一七年)

二月一三日 卒業論文口述試験

三月二四日 学位授与式

(二〇一六年度卒業論文題目)

濱本 純一 『坊ちゃん』論——「下女」としての清——

加藤 虹帆 『源氏物語』花散里の位置づけ——光源氏、夕霧との関係の移り変わり——

川地富美子 戦後高等学校国語教科書書の「定番教材」について——中島敦「山月記」に注目して——

小島 秋良 火野葦平『麦と兵隊』論——作品受容と「支那人」描写の関係について——

彙報

鈴木 遥香 寺山修司『田園に死す』論——「母殺し」はなぜ失敗に終わるのか——

高橋 将太 田山花袋「蒲団」論——明治期女学生表象から見えるもの——

出口 真由 平安前期勅撰集における「月影」歌について——その特徴と変遷——

船橋 里菜 村上春樹『ノルウェイの森』論——生と死と性——

森 真由子 中島敦「山月記」における「変身」の意味

藪田菜保美 キャッチコピーの機能の研究——文の表現類型および比喩の観点から——

山舖 怜 夏目漱石『夢十夜』論——自意識の描き方と前後作との関連について——

吉岡 努 『平中物語』の「友だち」たち——恋愛関係以外のつながり——

末次 亜衣 『落窪物語』帯刀の役割と継承

(二〇一六年度修士論文題目)

海野 奈保 『枕草子』の感情表現——憤り、悲嘆を表す語句とその演出性——

(教員異動)

二〇一七年四月三日付で坂堅太先生が特任准教授にご昇進なさいました。